



# なでしこ

【校訓】かしく なかよく たくましく 【教育目標】進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かっぱいやりぬく子

令和7年10月31日  
さいたま市立谷田小学校  
TEL 882-2980  
FAX 811-1334  
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>  
【在籍児童数】 599名

## 実りの秋

校長 村田 寿一

10月11日の運動会では、天候不順の中の開催となり、大変ご迷惑をおかけいたしました。冷たい雨が降る中にもかかわらず、一生懸命に演技する子ども達の姿に目頭が熱くなるとともに、それを温かい声援で後押しして下さった保護者の皆様、地域の皆様へ感謝の念を禁じ得ませんでした。さらには、途中で終わってしまい反省点ばかりだったのに、多くの皆様からやっていただいてありがたかったというお言葉までいただき、改めて谷田地区の温かさを実感いたしました。本当にありがとうございます。

さて、早いもので、もう11月。「実りの秋」も後半となる時期となりました。秋といえば、古来より「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などといえます。日本にある四季の中でも秋は、暑くもなく寒くもなく、とても過ごしやすく穏やかな気候なので、いろいろなことに集中できるといわれています。また、秋に頑張り努力したことが、冬を越し春に開花するともいわれます。本校でも、実りある活動を推進すべく、6年生の修学旅行をはじめとした各学年での社会科見学や遠足、どんぐり読書まつりや校内音楽会、谷田っ子フェスティバルといった各行事が行われる時期となります。子ども達の心に一生残る感動ある体験学習や学年を越えた交流、地域とのふれあいを深める取組となるよう、教職員ともども綿密に計画を立て、準備を行っているところです。子ども達は、学校外に出ても、五本柱（あいさつ、黙働、感謝、時間を守る、整理整頓）を意識して行動することを主なめあてにしています。そのめあてを達成するためには、やはり日ごろの行動が大切になります。先日、3年生が校外学習で民家園という施設に行き、昔の暮らしについて学んできました。その際、施設の方々やボランティアとして協力して下さった方々から、こんなお話をいただきました。「今年もたくさんの学校が体験学習にここ（民家園）に来たけれど、谷田小学校の子ども達がお世辞ではなく一番素晴らしいです。」民家園の方々はいさいたま市以外の市町村も含めたくさんの学校が訪れるので、多くの子ども達を見ている。そのような方々からこういうお言葉をいただけるということは、余程のことと思います。私もそのことを聞き、大変うれしく思うとともに、谷田小は、日頃から登下校も含め地域の中で、あいさつはもとよりお世話になる方への言葉遣いやマナー等について、家庭・学校が力を合わせて地域の中で子どもを育てる取組が着実に成果として現れ、きちんと実りを結んでいると安堵しました。

日々の授業では、子ども達の“笑顔あふれる授業”が常に見受けられます。それは、学習内容が分かり、子どもが主体的に参加する姿が多く見られるということです。我々教職員も、教科ごとに学習課題を提示し、発問を工夫したりパソコン等のICTをフル活用したりして、考える時間や書く時間を確実に設けるようにしています。1学期末の学校運営協議会では、「子どもが大変落ち着いて集中して授業を受けていた、どの学年・学級も雰囲気の良いと感じた、自分の子どもを見ていて長所が伸びている」等の感想をいただきました。また、学習と同時に、“人づくり”と“地域愛”にも力を入れてほしいというお話もいただきました。私も同じ想いであり、現状を踏まえながら、大きな行事での成功体験を積み重ねながらより良い谷田っ子達を育成していきたいと考えています。今月の29日には保護者の皆様に見に来ていただく校内音楽会があります。実際の子どもの姿や学校の様子を見ていただき、いろいろなご意見を聞かせていただければと思っています。また各学年で、ゲストティーチャー（授業ボランティア）を募集している教科もありますので、ボランティアとして教育活動に携わっていただくことも大歓迎です。この「実りの秋」に子どもたちがより一層成長できるよう、学校は、保護者、地域の皆様と一体になって、本校の活性化を図っていきたくと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。